

競技上の注意事項

□ 競技の運営が円滑に行われるよう、次の諸点にご協力ください。

- 1 (1) 各日程の試合開始予定時刻の20分前までに、受付を行うこと。
(2) 試合前のウォームアップは、トスによるエンド決定の後に開始し、原則としてサーブ3本のみとする。
(3) 20秒ルール・90秒ルールは、厳守のこと。
(4) 試合の進行を妨げるような発声や相手を威嚇するような言動は、禁止する。
(5) 試合時の服装は「清潔で礼儀正しい習慣的に認められているテニスウェア」とする。服装の色は、規制しない。ただし、シャツについては男女ともにゲームシャツとする。ワンピースの着用は認める。また、ラケットのストリングス上のロゴは認めない。なお、ボールパーソンの服装も選手の服装と同じとする。
(6) 試合時のユニフォームに、ゼッケン着用等によるへの学校名を表示する。(団体戦は表示義務です。)
- 2 試合は、可能な限りオーダー・オブ・プレー表の指示により進行します。控えの選手は、オーダー・オブ・プレー表に注意して、前の試合終了後直ちにコートに入ってください。
- 3 荒天や試合の遅延などによる試合の中断、コート・会場の変更を行うことがあります。大会本部の指示に従ってください。
- 4 観客の応援については、次の内容をお願いします。
 - (1) インプレー中（サーバーがレディポジションについた時から）には、故意に声を出すことや身体の一部を動かすことを禁止する。
 - (2) 応援する選手の相手プレイヤーのプレーに関する言動は禁止する。
 - (3) 観客の審判に対する一切の言動を禁止する。（観客は勝手にジャッジしたり、審判のジャッジにクレームをつけない。）
 - (4) 選手に対する技術的なアドバイスは禁止する。
 - (5) 応援に際しては、隣コートの状況に十分な配慮をする。
- 5 棄権及び失格について
次に該当する場合は、学校（選手）に対してペナルティーを課すことがある。また棄権及び失格とすることがある。
 - 試合に際し選手がコートに入っていない場合
 - レフェリーや審判に従わない場合
 - ケイレンなどによりプレーが続行できない場合
 - その他、ルールに著しく違反した場合
- 6 その他
 - (1) 試合球は、男女ともウイルソン「US OPEN EXTRA DUTY (エクストラ・デュティー)」。
下記の数を各高校で用意すること。

団体戦	シングルス	ダブルス
3缶(2個入り)	1人1缶	1組1缶

- (2) 貴重品・携行品は、各校で責任をもって保管すること。
- (3) 各会場でゴミを散らさず、出たゴミは必ず持ち帰ること。
- (4) 各会場で、テニスコート周辺以外の場所には立ち入らない。また、他の妨げとなるような場所での練習は行わない。
- (5) 会場に自転車で来た者は、所定の場所に駐輪すること。
- (6) 事故やけがなどのないように体調の管理等に十分配慮する。

団体戦の注意事項

1 試合の順序・方法について

- (1) 試合は、ダブルス・シングルスNO.1・シングルスNO.2の順に行い、初戦から勝敗が決定した時点で試合を打ち切る（ゲーム途中の場合はそのポイント終了時点での打ち切りとする）。
- (2) 試合の1回戦～準々決勝は1セットマッチを、準決勝・決勝戦は8ゲームズプロセットマッチを原則とする。1セットマッチの場合は6ゲームズオール後、8ゲームズプロセットマッチの場合は8ゲームズオール後、タイブレーク方式を採用する。
- (3) 進行の状況に応じて、2面または3面の同時進行で行うことがある。
- (4) 試合は、可能な限りオーダー・オブ・プレー表の指示により進行する。
- (5) 人数不足の為オープン参加の対戦においては、2人のときはシングルス2試合。3人のときはダブルス1試合、シングルス1試合を行う。
- (6) 進行の状況に応じて、2面または3面の同時進行で行うことがある。
- (7) 表彰は3位まで行う。3位決定戦は行わない。

2 選手オーダーについて

選手オーダーは、登録選手の中で各対戦ごとに組み替えることができる。ただし、シングルスについては、登録順位の上位の者をNO.1とすること。同一選手がシングルスとダブルスの両方に出場することはできない。なお、オーダー用紙は同じ内容のものを3部（本部用、対戦校交換用、自校控用）作成し、対戦決定後すみやかに本部へ提出すること。登録選手の変更は認めない。

準決勝開始前に団体6名登録から5名を選出し、本部に団体登録選手票を再提出すること。5名の順位は準々決勝までの順位を踏襲すること。選出された5名は上位大会進出時の登録選手とすること。

3 試合進行について

- (1) 6月2日（土）（大会3日目）各学校の代表は、8：40までに各会場本部で受付を行う。また、本部より指定された時間までにオーダー用紙（3枚とも、1回戦勝者と対戦する学校はその対戦終了後）を提出すること。
- (2) 6月2日（土）（大会3日目）各会場・各コートの第1試合の学校は、公式練習（雨天時は練習中止）終了後、競技進行計画表に基づき、速やかに指定のコートに入ること。交通渋滞等で遅れるときには、各会場の責任者へ連絡すること。2試合日以降の学校は、オーダー・オブ・プレー表及び会場担当者の指示に注意して、前の試合終了後直ちにコートに入ること。
- (3) コート内では、審判の指示に従い、両校整列の上で挨拶を交わし、オーダー用紙の交換を行う。監督は、相手校に対し選手の紹介・確認を行う。
- (4) ベンチコーチの助言は、エンド交代時に限る。
- (5) コートに入れる者は、選手及びベンチコーチ（試合を行っている学校の監督または登録選手）各コート1名に限る。ただし、シングルの試合に限り試合進行を速やかにするため、両校1名のボールパーソン（テニスウェア着用）を認める。

4 審判について

- (1) 審判は自信を持ってジャッジを行い、プレイヤー及び観客に聞こえるようはっきりとコールする。また、審判用紙の記入を行う。
- (2) 6月2日（土）（大会3日目）の審判は、競技進行計画表の指示に基づいて行う。なお、6月3日（日）（大会4日目）の審判は、準々決勝敗退校は準決勝の審判を、準決勝敗退校は決勝の審判を行っていただきます。本部の指示に従ってください。

- 5 平成30年度全九州高等学校体育大会（長崎）には上位2校。全国高等学校総合体育大会（三重）には優勝校が参加資格を得る。

個人戦の注意事項

1 試合の順序・方法について

- (1) 試合の男女シングルスは、準々決勝戦、準決勝戦及び決勝戦は8ゲームズプロセットマッチで行い、それまでは1セットマッチを原則とする。それぞれ6ゲームズオール及び8ゲームズオールでタイブレーク方式を採用する。
準決勝戦敗者による3位決定戦を1セットマッチで行う。準々決勝戦敗者による5～8位決定戦を1セットマッチで行います。準々決勝戦敗者の選手は、最終日パークドームに集合してください。
- (2) 試合の男女ダブルスは、1回戦～準々決勝戦は1セットマッチを、準決勝戦・決勝戦は8ゲームズプロセットマッチを原則とする。6ゲームズオール及び8ゲームズオールでタイブレーク方式を採用する。準決勝戦敗者による3位決定戦も行います。
- (3) 各コートの手配になっている選手は、前の試合が終了したら直ちにコートに入りウォームアップを始める。試合終了後は、勝者が直ちに本部に結果を報告し、敗者はコートに残り次の試合の審判を行う。各コートの第1試合はセルフジャッジとする。
- (4) コート内では、審判の指示に従い、選手双方整列の上で挨拶を交わす。
- (5) コートに入れる者は、選手のみに限る。ただし、シングルス試合に限り、両校1名のボールパーソンを認める。(試合進行を速やかにするために、可能な限りボールパーソンをつけること)
- (6) 表彰はシングルス6位まで、ダブルス4位まで行う。
- (7) 雨天時の為日程がずれてきても、日程に明記してある種目を実施します。個人戦シングルス5月26日(土)の未消化試合は5月27日(日)県民総合運動公園ABコートで行います。また、6月1日(金)の未消化試合は6月2日(土)に男子パークドーム熊本、女子八代市テニスコートで実施します。
- (8) 個人戦シングルス最終日6月4日(月)は、敗者審判がいません。補助員校は手配しておりますが、不足等の可能性もありますので、残り試合出場選手の学校は審判ができる生徒を準備願います。本部より審判を準備することもあります。

2 審判について

- (1) 審判は自信を持ってジャッジを行い、プレイヤー及び観客に聞こえるようはっきりとコールする。また、審判用紙の記入を行う。セルフジャッジで行う場合、サーバー側がカウントをコールする。紛らわしい判定については相手側に有利になるようにする。
 - (2) 各コートの第1試合はセルフジャッジで行い、2試合目以降敗者審判とする。
- 3 平成30年度全九州高等学校体育大会(長崎)にはシングルス上位4人、ダブルス上位2組。全国高等学校総合体育大会(三重)にはシングルス上位2人、ダブルス優勝組が参加資格を得る。